

順位	学籍番号	I.1 (1.2点)	I.2 (1.8点)	問題合計	ボーナス点	最終成績	ボーナス理由	採点根拠	良かった点	改善すべき点	アドバイス
39	1911827	0.48	0.72	1.2	0	1.2	回答は最低限の要求を満たしているが、理論的深さや具体性に欠け、特筆すべき独創性や優れた分析は見られないと認め。ボーナス点は付与しない。	両問題とも基本的な理解は示されているが、説明が表面的で具体例や論理的根拠が不足している。日本語表現にも改善の余地があり、より論理的で詳細な分析が求められる。個人的な意見は述べられているが、学術的な深さに欠ける。	働き方の変化やチームワークの重要性について基本的な認識を持つ。論理的根拠を示す。論理的な文章構成、日本語表現の正確性向上が必要。抽象的な表現ではなく、より具体的で詳細な分析を心がけるべき。	回答する際は、まずは問題を正確に理解し、具体例や根拠を用いて論理的に説明することを心がけてください。また、日本語の文法や表現についても見直しを行い、読み手に分かりやすい文章を書くよう努めてください。	
2111844											
2201058											
2201093											
2202015											
8	2202028	0.88	1.35	2.23	0.2	2.43	両問題で良好な成績を収め、特にI.2では社会課題解決と持続可能性の視点を含む包括的な回答を示している。理論理解と個人の意見のバランスが取れており、標準以上の回答品質が認められる。	組織論の基本概念を正確に理解し、従来型と次世代組織の違いを多角的に分析している。個人的な働き方への展望も具体的に示す。論理と実践の接点が豊富で、文章構成も明確で読みやすく、問題を適切に満たしている。	組織構造、意思決定、働き方等の比較軸を体系的に整理し、メリット・デメリットを客観的に分析している点が優秀。	具体的な企業事例や統計データの引用があれば、より説得力のある回答が期待される。また、次世代組織の課題についてより深い分析があると良い。	理論的基盤は十分なので、今後は実際の企業事例を調査し、データに基づく分析を加えることで、より学術的な深みのある回答を目指してください。
28	2202030	0.8	1.21	2.01	0.1	2.11	両問題とも基本的な要求を満たし、特にI.2では将来への具体的な準備についても言及するなど、誠実な取り組みが認められる。	組織論の基本的理解はあり、将来の働き方について自分なりの考案を示している。ただし、論理的根拠や具体例による裏付けが不足しており、より深い分析が求められる。	将来の働き方について個人の専門性を軸とした明確なビジョンを持ち、現在の準備についても具体的に考えている点が優れている。	従来型と次世代組織の違いについて、より具体的な事例や論理的根拠を示す必要がある。また、組織変化の背景や要因についての分析が不足している。	組織論の基本概念を学習し、実際の企業事例を調べて分析して下さい。また、自分の考えを支える根拠やデータを示すことで説得力が向上します。
2202039											
2202047											
2202059											
2202076											
2202077											
35	2202092	0.72	0.9	1.62	0.1	1.72	両問題で基本的な理解を示し、特にI.2では構造化された回答を提示している。誠実な取り組みが認められるため努力を付す。	基本的な理解は示されているが、論理的根拠や具体例が不足している。特にI.1では表現の曖昧さが目立つ。I.2では構造化された回答を示しているので、各項目の深堀が必要。全般として合格レベルの内容。	1.2で3つの観点から構造化して回答している点、個人の特性と組織の関係性を理解している点が評価できる。	論理的根拠の強化、具体例の追加、表現の明確化が必要。特に「景気の良さなどの曖昧な表現を避け、より学術的で正確な用語を使用すべき。各項目の詳細な説明と実践方法の提示が求められる。	回答前に問題の要求を明確に把握し、論理と実践を結びつけた説明を心がける。具体例や事例を用いて論点を補強し、専門用語を正確に使用することで回答の質を向上させることができる。
2202099											
2	2302010	1.08	1.62	2.7	0.3	3	両問題とも高い完成度を示し、特に組織論の理論的理解と実践的応用のバランスが優秀。独自の視点(ハイブリッド型組織の提案、AIとの協働観)と建設的な社会提言が評価に寄与する。	組織論の基本概念を正確に理解し、現代的な課題と将来展望を系統的に整理した優秀な回答。論理と実践のバランス、具体性と抽象性の適切な組み合わせが印象的。文章構成も論理的で読みやすい。	組織の特徴を多角的に分析し、メリット・デメリットを客観的に評価。将来像も具体的で実現可能性を考慮した建設的な内容。	一部の論点でより深い論理的根拠や具体的な事例がある点に説得力が増す。特に次世代組織のデメリットについてより詳細な分析があると良い。	優秀な分析力を示している。今後は具体的な企業事例や統計データを活用し、論理と現実のギャップをより詳細に検討することで、さらに説得力のある論考が可能になる。
31	2302012	0.72	1.08	1.8	0.1	1.9	両問題とも課題要求を満たし、個人的な体験や価値観をえた回答を示している。特に次世代組織への明確な選択理由や、ワークライフバランスへの具体的な考え方など、努力が認められる内容である。	従来型と次世代組織の比較分析と個人の働き方理屈に付いて基礎的な理解を示している。組織論の基礎概念は把握しており、自分なりの価値観に基づいた選択理由が明確である。論理的根拠の充実と文章表現への意識を示す。	次世代組織への明確な選択理由、ワークライフバランスへの具体的な考え方、社会貢献への意識を示している点が評価できる。	組織論の基本概念の充実、具体的な深化、文章構成の改善、誤字脱字の修正が必要。特に「です」「馬鹿を見る」などの表現は学術的文章として不適切。	組織論の基本概念をより深く学習し、具体的な事例や統計データを用いて論証を強化すること。また、文章の推敲を重ね、学術的な表現を心がけることが重要。
36	2302015	0.72	0.9	1.62	0.1	1.72	現代の働き方の変化について実体験に基づいた洞察を示し、自己発信や自律性の重要性など実践的視点を含んでいる点を評価。基礎的な要求は満たしておらず、誠実な取り組みが認められる。	組織論の基礎概念について理解を示し、現代的な働き方の課題についても幅広く考察している。個人の価値観と組織選択の関係性や、リモートワーク時代の組織運営について実践的な視点を含んでいるが、論理的な深さや具体的な根拠の提示に改善の余地がある。	現代の働き方の変化について実体験に基づいた洞察ができる限り、自律的な働き方の重要性について具体的な問題意識を持つ。組織論の理論的概念の正確な理解と使用、具体的な事例データによる根拠の提示、各論点の体系的な整理と深堀が必要。専門用語の適切な使用も求められる。	組織構造の基本概念を教科書で再確認し、現代組織論の理論と実践事例を調べて論述に取り入れること。各論点についてなぜそのなのかの理由付けを強化することを推奨する。	
2302017											
18	2302020	0.88	1.25	2.13	0.2	2.33	労働哲學的な観点から働く意味を問いかし、AI時代における労働の本質について深く考察している点が評価できる。また、義務教育段階での批判的思考力育成の必要性など、具体的で建設的な提言を行っている。	組織論の基本的理解に加え、個人の価値観と社会構造の関係を深く考察している。特に労働の意味や企業への忠誠心について根本的な見立てをされており、思考の深さが認められる。AI時代の働き方改革についても現実的な視点を持つ。	組織構造の違いを体系的に整理し、個人の価値観に基づいた選択理由を明確に述べている点。労働哲學的な視点から考察が秀逸。	理想的働き方について、より具体的な組織形態や制度設計の提案があるとさらに良い。また、AI活用の具体的な方法論についてもう少し詳しく説明があると説得力が増す。	現在の考察力は高く評価できます。今後は理論と実践をより密接に結びつけ、具体的な事例研究や実際の企業分析を通して、理想と現実のギャップを埋める具体的な方策を探求していくことを推奨します。
7	2302023	1	1.35	2.35	0.2	2.55	両問題で良好な成績を収め、特に組織論の理解と将来への具体的なビジョンが明確に示されている。AIと人間の協働という現代的なテーマを適切に扱い、論理と実践のバランスが取れた回答となっている。標準以上の回答品質が認められ、全体として良好な回答である。	従来型組織と次世代組織の比較分析が体系的で、将来の働き方についても現実的な視点で論述されている。組織論の基本的理解が明確で、AIやデジタル技術の活用、社会貢献などの意図など、現代的な課題への認識も適切に示されており、全体として良好な回答である。	組織の特徴比較が5つの観点から体系的に整理されており、将来への具体的なビジョンが明確に示されている点が優秀。	理論的根拠や具体的な事例をより多く盛り込むことで、論述の説得力を高めることができる。また、課題や矛盾点についてもより深く分析できることさらに良い。	現在の回答レベルは良好です。今後は学術的な文献や実際の企業事例を調査し、理論と実践の両面からより深い分析が可能になると想定されます。
2302025											
4	2302028	1.08	1.44	2.52	0.3	2.82	全体を通じてAIと人間の協働という一貫したテーマで論理的に構成され、従来型と次世代組織の比較が体系的に示されている。特に「AIと人間の協働」という現代的なテーマを軸に、論理的根拠と社会的視点を統合した考察を示している。	組織論の基本理解が確実で、従来型と次世代組織の比較が体系的かつ詳細に行われている。AIと人間の協働という現代的なテーマを軸に、論理的根拠と社会的視点を統合した考察が明確に示されている。論理的根拠を示す。	具体的な企業事例や統計データの引用があれば、より説得力のある論述になる。また、現実実験における具体的な観察やリヤリックを示すことで、論理と現実のギャップを埋める具体的な方策を探求していくことを推奨する。	現在の論理構成力は優秀なので、今後は具体的な事例研究や実際の企業分析を通じて、理論と実践の橋渡しができる力を身に付けることを推奨する。	
19	2302032	0.88	1.25	2.13	0.2	2.33	両問題で良好な成績を収め、特に未来の働き方について個人の価値観と社会的視点を統合した考察を示している。	組織論の基本的理解と未来への展望を適切に示している。従来型と次世代組織の対比、AIと人間の役割分担、社会貢献への意識など、バランスの取れた回答。論理的根拠の充実度が高めである。	組織の変化を的確に捉え、個人の価値観と社会的責任を結びつけた視点が優れている。文章構成も論理的で読みやすい。	理論的根拠や具体的な事例の提示が不足している。学術的な裏付けを加えることで、より説得力のある論述になる。専門用語の使用も模倣すべき。	組織論の基本概念「官僚制、ネットワーク組織等」を学習し、理論と実例を結びつけて理解する力を養う。未来予測には複数のシナリオを検討する視点も重要。
37	2302038	0.72	0.9	1.62	0.1	1.72	基本的な要求は満たしており、複数の観点から組織について考察しているが、論理的根拠が明確に示されている。ただし、論理的深さや論理的構成に課題がある。	組織論の基本的な理解はあるが、論理的根拠や具体例の提示が不十分。特にI.2では複数の観点を示しているものの、断片的で論理的な構成に欠ける。文章の充実度向上が必要。	組織論の根柢の明示、具体的例の充実、論理的な文章構成の改善が必要。特に断片的な記述を避け、一貫した論理展開を心がけべき。文章の完成度も向上させる必要がある。	組織論の基本概念を学習し、論理と実例を結びつけた論述を心がけること。文章は完結させ、論理的流れを意識して構成すること。参考文献を活用して根拠を明確にすることを推奨する。	
14	2302039	0.88	1.32	2.2	0.2	2.4	両問題とも要求を上回る内容で、特に組織論の木質的理屈を適切に分析している。将来の働き方についても現実的かつ具体的なビジョンを示し、現在の学習者の進捗も考慮されている。全体的に論理的で貫徹性のある回答。	組織論の基本的理屈を的確に理解し、将来への対応スピードという重要な概念を理解している。将来ビジョンが具体的で実現可能性を示している。	組織の特徴を体系的に整理し、変化への対応スピードという重要な概念を理解している。将来ビジョンが具体的で実現可能性を示している。	理論的根拠や具体的な事例の提示が不足している。学術的な裏付けを加えることで、より説得力のある論述になる。専門用語の使用も模倣すべき。	組織論の基本概念「官僚制、ネットワーク組織等」を学習し、理論と実例を結びつけて理解する力を養う。未来予測には複数のシナリオを検討する視点も重要。
15	2302040	0.88	1.32	2.2	0.2	2.4	全体を通して論理的構成と現代的な視点を持った回答。特にI.2では個人・組織・社会の層で体系的に整理し、AIとの協働や持続可能性など重要なテーマを適切に取り入れて論じている。誠実で丁寧な取り組みが認められる。	組織論の基本的理屈を的確に理解し、未来の働き方についても現実的かつ建設的な視点で論述している。論理と実践のバランスが取れており、個人の価値観に基づいた一貫した主張が展開されている。	体系的な整理力と現代的な視点。AIとの協働や持続可能性など重要テーマを適切に盛り込んでいる。	理論的根拠や具体的な事例をより充実させる。特に従来型組織の分析では、実際の企業事例や統計データがあるとより説得力が増す。	優れた構成力を活かし、今後は学術的な裏付けを強化することを推奨。経営学の理論や実際の組織変革事例を調べ、自身の主張により深みを持たせてください。
9	2302053	0.88	1.35	2.23	0.2	2.43	両問題で良好な成績を収め、特にI.2では未来の働き方について独自の視点で体系的に論述している。AIをパートナーとして捉える視点や、現実とのギャップを埋める具体的な方策への言及が評価できる。	組織論の基本概念を正確に理解し、未来の働き方について現実的かつ建設的な視点で論述している。論理と実践のバランスが取れており、個人の価値観に基づいた一貫した主張が展開されている。	従来型と次世代組織の比較が体系的で、未来の働き方について多面的に分析している。将来の働き方についても現実的かつ建設的な視点で論述している。組織論の基本的理屈があり、個人の価値観と社会的責任のバランスを考慮している。	1.1では具体的な企業事例やデータの活用、I.2では埋想実現のための具体的なステップやタイムラインの提示があるとより説得力が増す。また、課題や制約についてより深い分析があると良い。	優れた理論理解と論述力を持っているので、今後は具体的な事例やデータを積極的に活用し、実証的な根拠を示すことによって論述の説得力を高めることを推奨する。現実の企業動向や統計データの調査も有効である。

32	2302054	0.72	1.08	1.8	0.1	1.9	構造的な回答構成と複数の視点からのアプローチを評価。ただし理論的根拠の不足により最低限のボーナス点に留まる。	組織論の基本的知識はあり、複数の観点から構造的に論述している。しかし、理論的根拠や学術的な裏付けが不足しており、分析の深さに課題がある。ChatGPT使用の明記は論実な要素として評価できる。	複数の観点から構造的に整理し、具体的な施策例も含めている。主体性の重要性についても言及している点が良い。	理論的根拠や学術的な裏付けが不足している。「次世代型組織」など独自概念の定義が曖昧。具体例と理論の結びつきが弱い。	組織論の基礎理論を学習し、自分の主張を理論的に裏付けることを心がけてください。具体例を挙げる際は、なぜそれが効果的なのかの理由も説明しましょう。
38	2302060	0.72	0.9	1.62	0.1	1.72	基本的な要求は満たしており、授業内容を踏まえた回答や個人的な見解を示す論実な取り組みが認められるため、努力点として0.1点を付与。	課題の基本的な要求は満たしているが、全体的に分析の深さと具体性に欠ける。組織論の理解は表面的で、理論的根拠や具体例による裏付けが不十分。ただし、授業内容への言及や個人的な見解を示す姿勢は評価できる。	授業内容を踏まえた回答、個人的な選択理由の明確化、AIとの共存という現代的視点の提示。	理論的根拠の強化、具体例の充実、各論点のより深い分析、組織論に関する専門用語の適切な使用、論理的な文書構成の改善が必要。	教科書や授業資料を参考に理論的背景を学習し、実際の企業事例を踏まえて具体性を高めること、各論点について「なぜそう考えるのか」を詳しく説明する習慣をつけましょう。
20	2302062	0.88	1.25	2.13	0.2	2.33	全体を通じて論理的な構成で回答しており、特に1.2では他者の議論を踏まえた発展的な思考を示している。自身の考えを明確に表現し、将来への具体的なビジョンを持っています。	組織論の基本的な知識は満たしているが、全体的に分析の深さと具体性に欠ける。組織論の理解は表面的で、理論的根拠や具体例による裏付けが不十分。ただし、授業内容への言及や個人的な見解を示す姿勢は評価できる。	体験的な整理力、独自の視点（主体性の重要性）、具体的な将来ビジョン、他者との対話を通じた思考の深化	理論的根拠や具体的な事例の不足、メリット・デメリットの分析がやや表面的、持続可能性と利益追求の両立についてより具体的な戦略が必要。	優れた基礎理解を持っているので、今後は具体的な企業事例や実践的な理論を用いて論拠を強化することを推奨する。また、自身の主張をデータや事例で裏付ける習慣を身につけるとより説得力が増す。
10	2302069	0.88	1.35	2.23	0.2	2.43	両問題で良好な成績を収め、特に1.2では将来ビジョンから現在の行動計画まで一貫した思考を示している。ChatGPT使用を適切に明記し、論実な学習姿勢が認められる。標準以上の回答品質を評価。	組織論の基本的概念を正確に理解し、それを基に将来への現実的かつ創造的な視点を示している。理論と実践のバランスが取れており、個人的な成長意識も明確。AI活用の適切な開示も評価できる。より具体的な事例や深い分析がある場合は評価できる。	組織の本質的違いを的確に把握し、将来ビジョンから現在の行動まで一貫した思考を展開。AI活用に開示する誠実さも評価できる。	具体的な企業事例や統計データの活用、より深い批判的分析、理論的根拠の詳細化が必要。表面的な理解から一歩踏み込んだ洞察を求める必要。	優れた基礎理解を活かし、今後は具体的な企業事例研究や統計データの活用を心がけよう。また、複数の視点から問題を分析する批判的思考力を養うことで、より深い洞察が得られるかもしれません。
5	2302078	1	1.5	2.5	0.3	2.8	両問題とも高水準の回答で、特に未来の働き方について独自の視点と具体性を持った提案ができる。論理構成が明確で、理論と実践のバランスが取れた優秀な内容。	組織論の基本的な理解に基づき、自身の考えを論理的に展開している。理論と実践のバランスが取れており、個人的な成長意識も明確。AI活用の適切な開示も評価できる。	従来型組織のメリットへの言及がやや不足。次世代組織の課題やリスクについてもより深く分析することで、より説得力が増す。	優秀な回答です。今後は具体的な企業事例や統計データを引用することで、さらに説得力のある論述ができるでしょう。また、異なる視点からの批判的検討も加えると、より深い分析になります。	
21	2302086	0.88	1.25	2.13	0.2	2.33	両問題で良好な成績を収め、特に働き方に対する個人的な価値観と組織論を結びつけた実践的な視点が評価できる。論実な取り組み姿勢も認められる。	組織論の基本的な理解に基づき、個人の価値観と結びつけた実践的な回答を作成している。理論と実践のバランスが取れており、将来への具体的な展望も示されている。より深い分析や具体例がある場合は評価できる。	組織の特徴を体系的に整理し、個人の価値観と組織論を結びつけた実践的な視点が優れている。	理論的根拠や具体的な事例をより多く取り込み、次世代組織のデメリットについてもより深く分析することで、より説得力のある論述になる。	組織論の理論や実際の企業事例を調べて具体例を増やし、自身の経験や観察と結びつけることで、より深い洞察を示せるようになります。
2302091											
22	2302095	0.88	1.25	2.13	0.2	2.33	全体的に課題要求を満たし、特に問題2では現代的な視点（AI活用）を取り入れた建設的な提案を行っている。論実な取り組み姿勢と一定の独自性が認められる。	基本的な課題要求を満たし、組織論の基礎理論と将来への展望を示している。特に次世代組織への理解と、AIを活用した働き方への言及は評価できる。ただし、理論的根拠や具体例をより充実させることで、さらに説得力のある論述になる。	従来型と次世代型組織の違いを明確に整理し、自分なりの将来像を具体的に描いている点。AIとの協力による論述を取扱っている点。	理論的根拠や具体的な事例が不足している。特に組織論の理論や実際の企業事例を用いることで、より説得力のある論述になる。分析の深さをもう一段階向上させる必要がある。	今後は授業で学んだ理論を具体的に引用し、実際の企業事例を調べて論述して下さい。また、自分の意見を述べる際には、なぜそう考えるのかの根拠をより詳しく説明することを心がけてください。
26	2302146	0.88	1.08	1.96	0.2	2.16	両問題で良好な成績を収め、組織論の基本概念を適切に理解している。特に個人の成長と組織の変遷を踏まえて論述している点や、個人のキャリア観や明確に示している点が評価できる。標準以上の回答品質を示している。	組織論の基本的な理解は十分にあり、従来型と次世代型組織の特徴を適切に整理している。個人の成長と組織の変遷を踏まえて論述している点や、個人のキャリア観や明確に示している点が評価できる。	組織の変化を多面的に捉え、個人の成長と組織の発展を関連付けて考察し、自身のキャリア観と結び付けて論じていている点が評価できる。	理論的根拠や具体的な企業事例の提示が不足している。ターレントマネジメントやUCAなどの概念についてより深い分析が必要。文章構成をより論理的に整理する余地がある。	組織論の理論（例：バーンズ＆ストーカーの機械的・有機的組織論）を活用し、具体的な企業事例を交えて論述すると説得力が増す。また、データや統計を用いた根拠づけを心がけると良い。
11	2302148	0.88	1.35	2.23	0.2	2.43	両問題とも課題要求を上回る回答で、特に1.2では個人の理想と社会的価値を統合した包括的な将来像を示している。文章構成も論理的で読みやすく、標準以上の回答品質を示している。	組織論の基本概念が明確で、将来の働き方について論述している。特に次世代組織の対比が明確で、将来の働き方についてもより多くの具体的な視点を示している。個人の価値観と社会的価値を統合した包括的な将来像を示している。	従来型と次世代組織の対比が明確で、将来の働き方についてもより多くの具体的な視点を示している。個人の価値観と社会的価値を統合した包括的な将来像を示している。	1.1では具体的な企業事例や統計データの引用があるとより説得力が増す。理論的根拠（例：組織論の説明）が示されれば学年間の深度が向上する。	1.1では具体的な企業事例や統計データの引用があるとより説得力が増す。理論的根拠（例：組織論の説明）が示されれば学年間の深度が向上する。
2302152											
16	2302153	0.88	1.32	2.2	0.2	2.4	両問題とも課題要求を適切に満たし、特に1.2では多角的な視点から理想の働き方を体系的に論述している。現代的なビジネスストレンドによる理解と個人の価値観を適切に統合した良好的な回答品質を示している。	組織論と働き方の変化について基本的な理解を示し、特に次世代の働き方については多面的かつ具体的に示してきており、理解と個人の価値観を適切に統合した良好的な回答品質を示している。	現代的なビジネスストレンドを適切に理解し、AIとの協働、バーバス経営、サステナビリティなど重要な概念を統合的に論述している点が優秀。	1.1では具体的な企業事例や実際の組織変革の例を挙げることで説得力が増す。また、従来型組織の課題についてもう少し詳細な分析があると良い。両問題とも理論的根拠をより明確に示すことが望ましい。	優れた基礎理解を示しているので、今後は具体的な事例研究や統計データを活用して論述を補強することを推奨。また、批判的思考を取り入れ、理論と実践のギャップについても考察を深めると更なる向上が期待できる。
2302170											
6	2302181	1	1.5	2.5	0.3	2.8	両問題とも課題要求を適切に満たし、特に1.2では多角的な視点から理想の働き方を体系的に論述している。現代的なビジネスストレンドによる理解と個人の価値観を適切に統合した良好的な回答品質を示している。	組織論と働き方の変化について基本的な理解を示し、特に次世代の働き方については多面的かつ具体的に示してきており、理解と個人の価値観を適切に統合した良好的な回答品質を示している。	組織論の基本理解と未来志向の思考力を両立した良質な回答。従来型と次世代組織の比較分析は適切で、2030年代の働き構造は具体的かつ現実的。AIとの協働や社会貢献への視点が特に評価できる。理論的根拠の補強があればさらに向上する。	体系的な整理力、未来志向の具体的な構想、AIとの協働への理解がやや浅い、実現方法の具体性をより高める必要がある。	優れた構思力を持っているので、今後は学術的な理論や実際の企業事例を調べて根拠を強化し、理想実現のための具体的なステップをより詳細に検討することを推奨する
2302189											
2302193											
2302195											
25	2401018	0.8	1.21	2.01	0.2	2.21	ChatGPTの使用を正確に明記し、それを踏まえて自分なりの考察を加えている点を評価。特に理想的な働き方について独自の視点で論じており、論実な取り組み姿勢が認められる。	基本的な課題要求を満たし、将来の働き方について現実的な働き方を示す。特に理想的な働き方について具体的な構成が示されている点を評価。ChatGPTを情報収集ツールとして適切に活用し、自分なりの考察を加えている点が評価できる。	将来の働き方を3つの観点から体系的に整理し、AIとの共存という現実的な視点を持っている。情報収集を明記する誠実さも評価できる。	従来型と次世代組織の比較において、具体的な企業例や理論的根拠が不足している。また、理想と現実のギャップをどう埋めるかの具体的な戦略が弱い。	理論的根拠を強化するため、組織論の文献や実際の企業事例を調査することを推奨。また、理想実現のための具体的なアクションプランを詳細化すると良い。
2401178											
2401180											
17	2401806	0.88	1.32	2.2	0.2	2.4	両問題とも要求を適切に満たし、特に1.2では将来展望と現実的な準備計画を体系的に論述している。AIとの協働についても多角的に分担できる。	組織論の基本概念を理解し、従来型と次世代組織の違いを具体的に分担できる。	組織の特徴を複数の観点から体系的に整理し、将来の働き方について現実的な具体的な提案ができる。	従来型と次世代組織の比較であり具体的な企業事例があると説得力が増す。理想的な組織（例：リスクアセスメント）についてより深い分析になる。	現在の理解レベルは良好です。今後は実際の企業事例を調べて論述を補強することを推奨。また、批判的思考を取り入れ、理論と実践のギャップについても考察してみてください。
29	2402015	0.88	1.08	1.96	0.1	2.06	ChatGPTを活用した学習姿勢と、組織変革に対する体系的な表示を示している。基本的要素を満たし論実な取り組みが認められるため、努力点として評価。	組織論の基本概念を理解し、自分なりの働き方による裏付けができる。特に次世代組織への志向性と変革プロセスの理解は評価できる。	組織形態の対比が明確で、自身の価値観に基づいた選択理由が論理的。社会変革のプロセスを体系的に捉えている点が優秀。	理論的根拠の強化、具体的な事例の追加、各項目のより詳細な分析が必要。特に自己分析部分では具体的な行動計画があるとより良い。	組織論の理論書籍を参照し、実際の企業事例を調べることで論述を補強することを推奨。また、自己分析では具体的なスキル開発計画を立てることを推奨します。
33	2402020	0.72	1.08	1.8	0.1	1.9	基本的な要素を満たし、特に1.2では自分なりの理想像を具体的に描いている。誠実な取り組みが認められるため、努力点を付与。	組織論の基本概念は理解できており、自分なりの働き方による裏付けができる。ただし、理論的根拠や具体例による裏付けが不十分で、分析の深さに欠ける部分がある。合規レベルの内容だが、より詳細な考察が求められる。	AIとの協働や柔軟な働き方について具体的なビジョンを持ち、実現に向けた課題も認識できている点が評価できる。	理論的根拠や具体的な事例の不足、1.2の冒頭部分の論理構成が不明確、各論点をより深く掘り下げた分析が必要。専門用語の正確な使用も課題。	授業内容をより深く理解し、理論と実践を結びつけた分析を心がけてください。具体的な企業事例や統計データを用いて論述を強化することを推奨します。
30	2402024	0.88	1.08	1.96	0.1	2.06	両問題で基本要素を満たし、特に1.2では将来の働き方について多角的な考察を示している。誠実な取り組み姿勢が認められるため、努力点を付与。	組織論の基本概念を正確に理解し、理論と実践を適切に結びつけて論述している。従来型と次世代組織の比較分析が論理的で、将来の働き方についても現実的な具体的な構成が示されている点が評価できる。	従来型と次世代組織の対比が明確で、個人的見解も含めて論理的構成が示されている。将来志向の視点も良い。	理論的根拠や具体的な事例の不足、各論点をより深く掘り下げた分析が必要。専門用語の正確な使用も課題。	具体的な企業事例や統計データを用いて論述を強化し、各段階の論理的つながりを明確にする。また、理論的フレームワークを活用してより体系的な分析を心がける。
12	2402071	0.88	1.35	2.23	0.2	2.43	ChatGPTを使用して適切に明記し、授業内容への深い考察、デジタルシミュレーション課題への丁寧な回答など、課題要求を超えた誠実な取り組みが認められる。特に1.2での論理的分析と1.2での将来構想の具体性が優れている。	組織論の基本概念を正確に理解し、理論と実践を適切に結びつけて論述している。論理と実践のバランスが取れており、論述が論理的で、将来の働き方についても現実的な具体的な構成が示されている点が評価できる。	論理的の理解が正確で、4つの観点からの体系的分析、個人の価値観に基づいた選択理由の明確化、将来志向の視点も良い。	一部の表現がやや抽象的で、具体的な企業事例や数値データがあればより説得力が増す。また「実力行使に出やすい出力」などの表現は明確化が必要。	優れた分析力を示しているので、今後は具体的な企業事例や統計データを用いてより説得力のある論述を心がけてください。理論と実践の構造をさらに強化することで、より深い洞察が得られるでしょう。

27	2402097	0.72	1.21	1.93	0.2	1.2で未来の働き方について包括的かつ現実的な視点を示し、AIとの協働や持続可能性といった現代的課題を適切に組み込んでいる。また、理想と現実のギャップを埋める方策まで言及している点を評価。	1.1は基本的な理解にとどまるが、1.2では未来志向的で体系的な思考を示している。特に働き方の変化を多角的に捉え、社会課題解決への意識も高い。全体として課題要求を満たしており、一部で優れた内容を含んでいる。	1.2で働き方の未来像を個人・組織・社会の3層で整理し、AIとの協働や持続可能性を重視した現代的な視点を示している。	1.1で理論的根拠や具体例が不足している。組織論の基本概念をより深く理解し、実例を用いた分析を心がける必要がある。また、文章構成をより論理的に整理することを望ましい。	組織論の基礎理論を学び直し、具体的な企業事例を調べて分析に活用する。また、自分の意見を述べる際は、なぜそう考えるのかの根拠を明確に示すよう心がける。
23	2402138	0.88	1.25	2.13	0.2	両問題で良好な成績を収め、特にハイブリッド勤務の現実的な実践や自己成長への具体的な準備など、標準以上の思考の深さと実践性を示している。	組織論の基本概念を正確に理解し、個人の価値観と結び付けて論理的に展開している。働き方の理想と現実のバランスを考慮し、将来への具体的な準備も示されており、全体的に良好な回答品質である。	従来型組織の利点についても言及があるとおり客観的な分析になる。また、具体的な企業事例や数値データがあるとさらに説得力が増す。	現在の理解度は良好です。今後は具体的な企業事例を調べて理論と実践を結び付ける学習を進め、自身のキャリア設計をより具体化することをお勧めします。	
24	2402139	0.88	1.25	2.13	0.2	全体を通して一貫した論理性があり、特に段階的成長への現実的なアプローチと、AIを活用した社会課題解決への具体的なビジョンが評価できる。自己分析も踏まえて、将来への明確な方向性を示している。	組織論の基本概念を理解し、自身の価値観と将来のキャリアビジョンを開拓付けて論述している。特に現実的な段階的成長への考え方と、AIと人間との協働に対する理解が優れている。理論の深度をさかに高めることで、より優秀な回答になる。	段階的キャリア発展への現実的アプローチ、AIと人間の役割分担との理解、社会課題解決への明確なビジョン、自己分析の誠実さ	理論的根拠の深化、具体的事例の追加、従来型と次世代組織の特徴についてより詳細な分析、メリット・デメリットの具体例の充実が必要	優れた基礎理解を持っているので、次は理論的根拠を深め、具体的な事例を増やすことを意識してください。特に組織論の専門用語を正確に使い、実際の企業事例と関連付けると説得力が増します。
34	2402153	0.72	1.08	1.8	0.1	基本的な要求は満たしており、将来への具体的な展望と現在の準備について誠実に考察している点を評価。ただし、理論的深さや独創性の面で標準レベル。	組織論の基本概念を理解し、将来の働き方について現実的な視点で考察している。ChatGPT活用を明記する誠実さも評価できる。ただし、各項目の分析がやや表面的で、理論的根拠や具体例による要付けが不足している。	各項目の説明をより詳細に、理論的根拠の明示、具体的な組織論の理解、将来への具体的なビジョン、AIとの協働や社会貢献への意識、ChatGPT使用の明記による検討が必要	組織論の教科書や事例研究を参考に、各概念の理論的背景を理解し、実際の企業事例を調べて具体性を高めること。また、自分の考えに根拠を示す習慣をつけることが重要	
3	2402160	1.08	1.62	2.7	0.3	両問題で高得点を獲得し、組織論の理論的理解と未来志向の実践的思考を高次元で統合。特に戦略フレームワークの活用やサステナビリティとの融合など、独自の視点と深い洞察が評価できる。	組織論の基本概念を正確に理解し、それを自身のキャリアビジョンと有機的に結びつけた優秀な回答。理論と実践、現在と未来を架橋する思考力が際立っている。特に次世代組織の本質的特徴の把握と、それに基づく戦略的な自己開発計画が評価できる。	体系的な比較分析力、理論と実践の統合思考、未来志向の戦略的思考、サステナビリティへの深い理解が優秀。	優秀な分析力を活かし、今後は理論学習と並行して実際のプロジェクトでの実践経験を積むことを推奨。特に戦略フレームワークの実践的活用とチーム運営経験を重視されたい。	
1	2402167	1.08	1.62	2.7	0.4	両問題で高得点を獲得し、特に将来の働き方について独創的かつ現実的な視点を示している。理論と実践のバランスが取れ、社会課題解決への強い意識も評価できる。全体的に学術的価値の高い回答。	組織論の基礎理解から将来展望まで一貫した論理で構成された優秀な回答。従来型と次世代組織の比較分析が的確で、2030年代への展望も具体的。特に人間中心の働き方という価値観が全体を通して明確に示されている。	一部の論点でより具体的なデータや事例があるとさらに説得力が増す。また、実現に向けた具体的なアクションプランがあるとより実践的になる。	優秀な分析力を活かし、今後は実際の企業事例研究や現場体験を通じて理論を検証することを推奨。また、自身の価値観を軸にした一貫性を保つつ、多様な視点も取り入れてほしい。	
13	2402179	0.88	1.35	2.23	0.2	両問題とも課題要求を上回る質の高い回答を提供。特に将来への具体的なビジョンと現実的な準備計画を示し、理論と実践のバランスが取れた優秀な回答である。	組織論の基本概念を正確に理解し、自身の価値観と将来設想を論理的に関連付けている。従来型と次世代組織の本質的違いを捉え、2030年代への具体的で現実的なビジョンを提示した優秀な回答である。	理論的根拠が正確で、個人的な価値観と論理的思考のバランスが良い。将来への具体的なビジョンと準備計画が現実的である。	現在の高い理論理解力を活かし、実際の企業事例や統計データを調べて論拠を強化することを推奨する。インターネットショッピング等で実際の組織体験を積むことも有効である。	